



2025 年 11 月 25 日

ENEOS のサーバー冷却用液浸冷却液「ENEOS IX シリーズ」が 「2025 年“超”モノづくり部品大賞」生活・社会課題ソリューション関連部品賞を受賞

ENEOS 株式会社（以下、ENEOS）は、サーバー冷却用液浸冷却液「ENEOS IX シリーズ」が「2025 年“超”モノづくり部品大賞」（主催：モノづくり日本会議※1、日刊工業新聞社）において、「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

「“超”モノづくり部品大賞」は、2004 年にはじまり今年で 22 回目となる表彰制度で、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、産業・社会の発展に貢献する「縁の下の力持ち」的存在である部品・部材を対象としています。

この度受賞したサーバー冷却用液浸冷却液「ENEOS IX シリーズ」は、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みの一つとして、サーバーから発生する熱を効率的に吸収し、高い冷却効率を実現する单相式液浸冷却※2※3 に着目し、関連企業と協業して液浸冷却液の開発を進め、2024 年 2 月より発売を開始しました。

本製品は、添加剤処方技術により高い酸化安定性を有し、使用期間の長期を実現しています。また、様々なニーズに対応できるよう以下の3つのラインナップを取り揃え、グローバル展開を図っています。

【ENEOS IX シリーズのラインナップ】

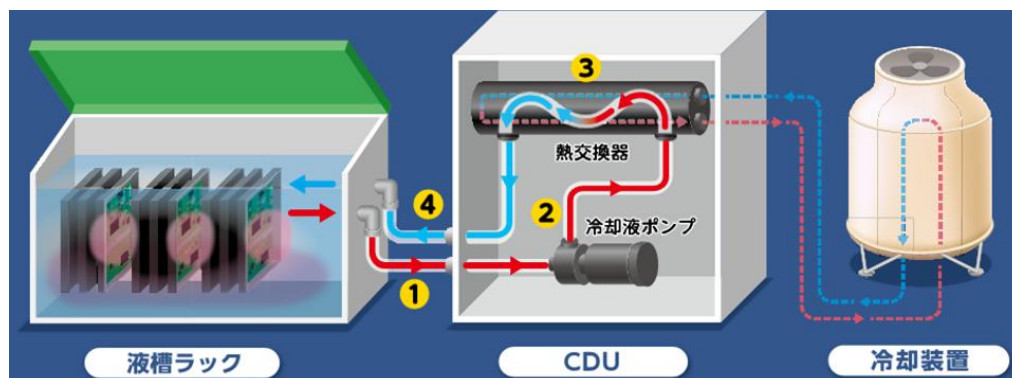
- ① 高引火点品：日本の厳格な消防法を考慮し、引火点 $\geq 250^{\circ}\text{C}$ を有しつつ冷却効率を追求した商品
- ② 高冷却効率品：世界的な基準である発火点 $> 300^{\circ}\text{C}$ を有しつつ冷却効率を追求した商品
- ③ カーボンニュートラル対応品：植物を原料とし、さらなる CO_2 排出削減に貢献できる商品

以 上

※1 人口・環境・資源などの制約への対応による「持続的に成長可能なモノづくり社会の実現」、世界から尊敬される日本ならではの「モノづくり風土、文化の醸成」を目指し、現在、2,000 社を超える企業が入会している団体。

<https://www.cho-monodzukuri.jp/>

※2 单相式液浸冷却方法の概略図 <https://datacenter-solution-forvice.com/iceraq/>



※3 単層式液浸冷却システム <https://datacenter-solution-forvice.com/182/>



システム全体(左)とサーバーが冷却液に浸漬している状態(右)

< “超”モノづくり部品大賞概要 >

主 催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社

後 援：経済産業省、日本商工会議所、日本経済団体連合会

対 象：「機械・ロボット」「電気・電子」「モビリティ関連」「環境・資源・エネルギー関連」
「健康福祉・バイオ・医療機器」「生活・社会課題ソリューション関連」

< ENEOS 受賞履歴（ご参考） >

2011 年度 大賞 「エコジュール」

2013 年度 奨励賞 「ミライフ」

2014 年度 機械部品賞 「NS クリーン」

2015 年度 電気・電子部品賞 「ザイダー（カメラモジュール用）」

2016 年度 生活関連部品賞 「KALEIDO SCREEN®」

環境関連部品賞 「ギャグランド DX シリーズ」

2020 年度 電気・電子部品賞 「Nanoable® Waveplate」